

燃料デブリの本格的な取り出しに向けて、3号機原子炉格納容器の内部を超小型ドローン(マイクロドローン)で調査しました。

マイクロドローンによる3号機原子炉格納容器の内部調査

- ▶2026年3月、3号機原子炉格納容器(以下、PCV)の内部において、燃料デブリの本格的な取り出しに向けた情報を収集することを目的に「マイクロドローン」で調査を行いました。
- ▶PCV内部へと繋がっている直径約14cmの貫通孔(X-53ペネ)からマイクロドローンを投入し、未調査のエリアを含むPCV内の広範囲を延べ11日間調査しました。
- ▶調査期間中、発電所の敷地境界にあるモニタリングポストのデータに有意な変動や周辺環境への影響はありませんでした。

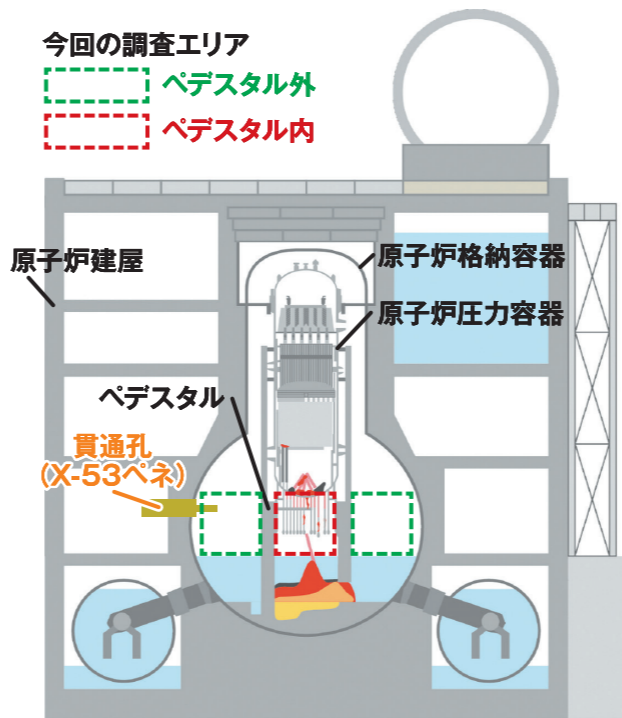


マイクロドローン

マイクロドローンによる調査結果

- ▶原子炉圧力容器(以下、RPV)を支える台座(以下、ペDESTアル)の「外側調査」では、設備の大きな損傷や干渉物はないことを確認できました。
- ▶ペDESTアルの「内側調査」では、RPV底部とみられる構造物を事故後初めて撮影しました。また、RPV内から落下した構造物(制御棒案内管※1)が、横たわっている様子も確認することができました。
- ▶今後は、PCV内部のさらなる調査や燃料デブリ取り出し工法の検討を進めます。

※1:制御棒の引抜・挿入時にガイドする金属製の筒

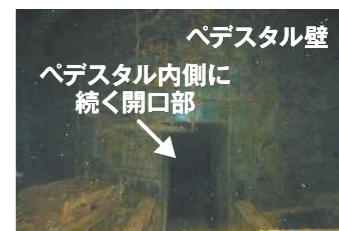


3号機原子炉建屋 縦断面図

【ペDESTアル外】



※2:燃料デブリ取り出しに活用される可能性ある貫通孔



マイクロドローン調査映像▼



【ペDESTアル内】



原子炉圧力容器内部調査についてはこちらをご覧ください
▶[3号機PCV内部気中部調査(マイクロドローン調査)]
https://www.tepco.co.jp/decommission/information/committee/roadmap_progress/pdf/2026/d260326_27-j.pdf



燃料デブリ取り出しについてはこちらをご覧ください
▶[燃料デブリポータルサイト]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/fuel-debris/index-j.html>



皆さまのご意見をお聞かせください
▶[廃炉に関するご意見・お問い合わせ]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/voice.html>



東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22